

安倍首相の9条改憲を止める！大運動推進ニュース

NO.6 2017年11月10日(金) 全日本民医連

各地の取り組みを紹介します！

★石川



やっとそれぞれのホームで事業所の「9条宣言」が、カタチになりました。10月に「やすらぎの里まつり」を開催し、多くの参加者に折り鶴をつかったオブジェづくりに協力してもらい平和のシンボルであるハトのオブジェが完成し、ホームの玄関ロビーに掲示しています。なんぶやすらぎホームでは、前回紹介しました全職員の9条への想いをタペストリーにし、こちらも現在の玄関ロビーに掲示しています。

平和への永遠の想い、その想いを確固たるものするためゼッタイに9条守るの想い やすらぎ福祉会の2つの宣誓です。 「平和こそ最大の福祉」

★北海道

北海道勤医協を中心とする道央圏事業協主催の1～3年目の事務職員の集合研修で、「憲法、社保、無料低額診療」の3つの中からひとつのテーマを選んで、グループで紙芝居を作成するという課題を与える研修をしました。

紙芝居をつくるためには、それぞれのテーマについてしっかり理解を深めることが必要なので、若い事務職員が楽しく学ぶことと、「友の会拡大強化月間」の中で、自分たちで作った紙芝居を持参して地域に出かけて健康相談会に参加することなども期待して取り組みました。

ある日、おじいさんがとても悲しんでいた
ので、桃太郎がわけを聞きました。するとお
じいさんは、「昔、わしは戦争を経験して、
たくさんの大切な家族、友人をなくしたんじ
ゃ。今、自民島に住んでいる鬼が、国の憲法
を変えて、また戦争ができる国にしようとし
ている。わしはそれが悲しくてたまらんのじ
ゃ。」と言いました。桃太郎は、おじいさん



⑨



の話聞き、「おじいさん、おばあさん、ぼくはこれから鬼退治に行ってくるよ」出発しました。

桃太郎が自民島という名の鬼ヶ島に向かってると一匹の犬がやってきました。

「桃太郎さん、桃太郎さん、お腰につけたきび団子、ひとつ私にくださいな」「あげましょう、あげましょう、憲法9条の成立の経緯について教えてくれるならあげましょう」「昔、戦争があったたくさんの人が亡くなった。その悲劇をもう二度と繰り返さないために憲法9条はできたんだよ」きび団子をもらった犬は、桃太郎の仲間になりました。以下略。

★京都

下京健康友の会 11/4 と 5 日、午前 10:30 から 1 時間、署名のための会員訪問をおこないました。対話 19 人・不在 17 件の会員訪問で「いのちの署名」27 筆、「あべ改憲 NO! の署名」7 筆を書いてもらいました。「改憲 NO!」の署名は「考える」と預かっていただいた方が多かったです。安倍首相は来年 12 月には国民投票をする計画との説明をきいて「そうなんですか。反対の人はいくでしょう。」と署名に応じた方もあり、国民一人ひとりに判断が問われるんですと、対話する大切さがわかりました。

★兵庫



決してあきらめない!

安倍 9 条改憲 NO! 全国市民アクション 11・3 国会包囲大行動

11 月 3 日(金・祝)快晴の東京、安倍 9 条改憲 NO! 国会包囲行動、全国から 4 万人が参加(主催者発表)。永田町は憲法 9 条を守りたい人の波で溢れ、反戦歌が国会をとり囲むように 4 か所に設けられたスピーカーから流れていて熱気ムンムン。兵庫民医連から北村さんと私の 2 名が参加、全日本民医連の皆さんと偶然一緒になり交流ができました。私は、「憲法 9 条改悪は絶対ゆるさないぞ」という思いをシュプレヒコールで国会にぶつけてきました。今年 5 月 3 日の憲法記念日に、安倍首相が表明した「2020 年に憲法を変える」。私は耳を疑った。憲法を守るべき立場でありながら、憲法を守らない安倍首相が 2020 年と期限を切って憲法変えると言いつつ、それ自体が憲法違反だと言いたい。にもかかわらず 10 月 22 日に行われた衆議院選挙で、自民党が、改憲勢力が、3 分の 2 の議席を確保してしまいました。いよいよ憲法改悪に乗り出すのだろう。本丸は 9 条改悪。それだけでは何があっても阻止しなければならない。森友学園、家計学園、自衛隊の日報隠ぺいなど、3 ヶ月も待たされた臨時国会、開いたとたんに冒頭解散。仕事人内閣と言いつつ、何の仕事もせず解散。この内閣を再び選んだのはまぎれもなくわれわれ国民。謙虚に、謙虚に、謙虚にと繰り返す安倍首相の言葉に真実はない。永田町を包囲した護憲派の市民のみなさん、全国各地で「9 条護すな」の声を上げ続けている市民のみなさん、国会前で訴えた憲法改悪反対で政策が一致している野党のみなさんと力合わせて頑張れば、明るい希望が見えてくる。相手は強敵「安倍政権」。2017 年 11 月 3 日、私たちは憲法改悪許さない闘いのスタートラインに立った。国民は決して「あきらめない」。子どもたちのために、平和を守るために。(県連 近藤秀子)

各地のとりくみ・ニュースを min-syaho@min-iren.gr.jp (国民運動部) までお寄せください。